

**「全力に悔いなし！過程を大切に！」**



**燃える！ 伝える！ 絆！ 伝統！**



昼休みも惜しんで練習する「応援団！」 9.16



各教室に向いての「応援合戦、初練習！」 9.17



低学年競技「ふりふり玉入れ」練習シーン 9.17

体育大会の練習期間、本番当日を通じ、体を動かす心地よさ、心をつににする清々しさを感じられますように！そして、チーム西部小の一員で良かった(\*o\*)。そんな気持ちで満たされることを切に願っています！

## 優劣の彼方に！

間もなく体育大会！「赤青共に 勝利をめざし 正々堂々 ぶつかり合おう」のスローガンの下、全力を尽くす子供達の姿を楽しみにしています。そんな姿を熟々想像していた時、次の話が蘇ってきましたので紹介しましょう。

ところで皆さん、陸上競技の華と聞かれたらどんな種目を想像されますか？大方の人は、100Mやマラソンと答えられるのでは。しかし、陸上競技が盛んな欧州では、ちょっと事情が違うようです。競技の勝者が「キング・オブ・アスリート」と称される競技があります。1人のアスリートが2日間で 100M走、走り幅跳び、砲丸投げ、走り高跳び、400M走、110Mハードル、円盤投げ、棒高跳び、槍投げ、1500M走の合計十種目の競技(ちなみに女子は七種目)を行い、その記録を得点に換算して合計得点で競う競技です。たとえ1種目であっても身体能力をフル稼働させ、全力を尽くしてパフォーマンスをすることは並大抵なことではありませんが、2日で十種目を行うのですから…。だからこそ、この十種競技の勝者は「キング・オブ・アスリート」と称されるのでしょう。



さて、上の写真を見て下さい。これは、十種目全ての競技が終わった後の競技者達の姿です。如何ですか？誰が勝者で、誰が敗者なのか判りますか？この姿が教えてくれるのは、自分と闘い、自己の限界に挑み、他者と競い、互いにその勇気と健闘を讃え合うという「優劣の彼方」にある美しさではないでしょうか。

この価値は、年の差やステージの違いなど全く関係ありません。正々堂々戦った後は、皆で健闘を讃え合いましょう。結果ではなく、全力を出し切ったことへの「誇りと自信」が湧いてくるはずです！さあ、体育大会まであと三日！

